

2021年5月20日

地域社会の発展と地域活性化の推進を目指す

会津若松市との連携協定締結のお知らせ

無印良品を展開する株式会社良品計画（東京都豊島区／代表取締役社長 松崎 暁）は、福島県会津若松市（市長 室井 照平）と、地域社会の発展と地域活性化の推進を目指し、「会津若松市と株式会社良品計画との連携に関する協定（以下、本協定）」を本日締結したことをお知らせいたします。

■地域社会の発展と地域経済の活性化を目指して

当社は、「感じ良いくらしと社会」の実現を目指し、各自治体や地元住民が主役となって、それに無印良品が巻き込まれる形で地域を活性化していくさまざまな取り組みをすすめています。また、地域に開かれた店舗運営を通じて人と人、人と自然、人と社会をつなぐ場となることを目指しています。

会津若松市は、磐梯山や猪苗代湖などの豊かな自然に恵まれ、農業や工芸などの歴史や文化、伝統が受け継がれています。一方で少子高齢化や人口減少、若年層のまちなか離れ、中山間地域における移動困難者・買い物困難者の増加といった地方都市共通の課題も見られます。同市はこれまで、「ともに歩み、ともに創る「温故創しん」会津若松」を掲げ、「暮らし続けることのできるまち」、「暮らし続けたいまち」を目指し、スマートシティでのICTや環境技術の活用や、魅力的な仕事の創出、生活の利便性の向上のための取り組みを進めてきました。

当社は、会津若松市が抱える地域課題とともに向き合い、これまでの各都市での出店や地方自治体との取組みから培った経験を活かし、地域社会の発展と地域活性化の推進に寄与していきたいと考えています。同市と当社は、本協定を通して多様な分野で連携し、協働することで、これらの取り組みをさらに発展させ、同市内地域のより一層の活性化及び市民サービスの向上を図り、持続可能な地域社会の実現を目指してまいります。

【協定における連携分野】

本協定では、上記の目的を達成するために以下の分野を中心に連携し、協力してまいります。

- (1) 中心市街地活性化及びまちづくりの推進に関すること
- (2) 公共交通、物流の利便性向上等による中山間地域との連携に関すること
- (3) 地域資源を活用した産業振興に関すること

【取り組みの方向性】

(1) 中心市街地エリアの魅力向上

中心市街地に人が集うように、特に若年層と子育て世代の回帰に向けた空間づくりや、居心地のいい第3の場所（サードプレイス）を整備することで、住民同士あるいは住民と外来者の交流を促進します。

(2) 中山間地域で暮らしつづけることのできるまちづくり

自動運転などの技術を活用し、高齢者や移動困難者も含めた地域全体の移動手段確保やアクセス向上を図ります。また、中山間地域の遊休施設等を活用し、農業体験メニューや商品（6次産業化）を開発したり、移動販売車による商品販売を行うことで、地域課題の解決を図ります。

(3) 地域資源の有効活用と魅力の再構築

未利用・低利用資源を活用した商品を開発、販路の開拓をするとともに、体験型観光等を通じた関係人口の拡大を図ります。また、これら地域産品や環境資源などに関する情報発信を通して、当たり前のように存在し埋もれてしまった地域の魅力を再発見します。

以上